



2021年5月14日

各位

会社名 リズム株式会社
代表者名 代表取締役社長 平田 博美
(コード番号 7769 東証第一部)
問合せ先 取締役常務執行役員 山崎 勝彦
(TEL 048-643-7241)

中期経営計画の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2019年5月30日に公表した中期経営計画について2022年3月期計画を修正することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期計画の修正

	2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期	
	計画	実績	計画	実績	当初計画	修正計画
売上高 (百万円)	31,500	29,911	32,800	27,304	34,000	27,600
営業利益(百万円)	800	△234	1,300	318	1,700	330
経常利益(百万円)	900	△22	1,420	588	1,800	530
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	500	△1,139	920	△1,262	1,170	330

2. 2022年3月期計画の修正理由

当社は、2020年3月期を初年度とする中期経営計画をスタートさせ「グループガバナンスの強化」、「収益力の強化」、「リズムブランドの価値向上」、「ROEの改善」を経営方針とし、これまで取り組んでまいりました。しかしながら新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大、米中貿易摩擦の長期化、国内基幹三社合併など、当社を取り巻く内外の環境は計画を策定した当時の状況から大きく変化しております。それに伴い、現中期経営計画の修正を行うことといたしました。

2022年3月期は2022年4月にスタートする新中期経営計画の基盤づくりの年と位置付け、新たな経営方針のもと成長戦略の実現に向け邁進していく所存でございます。なお、修正計画の詳細につきましては「修正中期経営計画」(2019年度-2021年度)をご覧ください。

(注) 上記の修正計画(連結業績予想)につきましては、発表日時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上



修正中期経営計画

(2019年度－2021年度)

2021年5月14日

リズム株式会社
(東証一部 7769)

I 2019-2020年度 中期経営計画の振り返り

II 2021年度 修正中期経営計画

注：本資料中、特段の注記がある場合を除き、金額は切り捨て、年は事業年度(4月～翌3月)を表します。

I 中期経営計画の振り返り

(2019年度-2020年度)

2019-2020年度決算の概要



(百万円)	2018年度	2019年度					2020年度					前期比増減 (通期)
	累計	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	
売上高	31,016	6,949	7,355	8,114	7,491	29,911	5,444	6,595	7,474	7,790	27,304	-2,606
国内売上	19,359	4,316	4,198	4,063	4,477	17,056	3,685	3,995	4,425	4,282	16,388	-668
海外売上	11,656	2,632	3,156	4,050	3,013	12,854	1,759	2,600	3,048	3,507	10,916	-1,938
海外売上比率	38%	38%	43%	50%	40%	43%	32%	39%	41%	45%	40%	-3%
営業利益	761	15	-5	0	-244	-234	-286	-81	426	259	318	552
営業利益率	2.5%	0.2%	-0.1%	0.0%	-3.3%	-0.8%	-5.3%	-1.2%	5.7%	3.3%	1.2%	2.0%
経常利益	913	101	-20	64	-166	-22	-213	-35	542	295	588	610
経常利益率	2.9%	1.5%	-0.3%	0.8%	-2.2%	-0.1%	-3.9%	-0.5%	7.3%	3.8%	2.2%	2.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	-264	71	-181	-25	-1,003	-1,139	-1,761	-218	390	326	-1,262	-123
四半期純利益率	-0.9%	1.0%	-2.5%	-0.3%	-13.4%	-3.8%	-32.4%	-3.3%	5.2%	4.2%	-4.6%	-0.8%
1株当たり親会社株主に帰属する四半期純利益(円)	-31.99	8.66	-22.02	-3.09	-121.47	-137.92	-213.25	-26.41	47.26	39.52	-152.90	-14.98
期末日為替レート(US\$=¥)	110.99	107.79	107.92	109.56	108.83	108.83	107.74	105.80	103.50	110.71	110.71	1.88
期中平均為替レート	110.48	110.94	107.57	108.17	109.53	109.05	107.57	106.81	105.15	104.30	105.96	-3.10

【2019年度】

- 2019年度は減収、営業・経常損失となり、2期連続の当期損失を計上。
- 2019年度第4四半期から新型コロナウイルス感染症の影響。
- 当社時計事業及び全社共用資産、中国子会社などにおいて減損損失を計上。

【2020年度】

- 2020年度は、通期で新型コロナウイルス感染症による景気減速の影響が大きく、受注は回復基調にあるものの大幅な減収。
- 早期退職実施、関連費用1,501百万円計上し、3期連続当期損失計上。
- 受注回復に加え、早期退職による固定費削減効果もあり、営業・経常黒字化を達成。

中期経営計画の目標値達成状況



新型コロナウイルス感染症の流行により、事業を取り巻く環境が大きく変化。
2019年度に続き2020年度も中期計画を大きく下回る。

	2018年度 実績	2019年度		2020年度		2021年度 計画
		計画	実績	計画	実績	
営業利益率	2.5%	2.5%	-0.8%	4.0%	1.2%	5.0%
営業利益	7.61億円	8.00億円	-2.34億円	13.00億円	3.18億円	17.00億円
ROE	-0.9%	1.9%	-4.2%	3.3%	-5.0%	4.3%
ROA	-0.7%	1.4%	-3.0%	2.3%	-3.5%	3.0%
連結売上高	310億円	315億円	299億円	328億円	273億円	340億円
海外売上高比率	38%	42%	43%	46%	40%	50%
期末日為替レート	110.99円	計画為替レート @120円	108.83円	計画為替レート @120円	110.71円	計画為替レート @120円
期中平均為替レート	110.48円		109.05円		105.96円	

※計画：2019年5月30日発表『中期経営計画(2019.4～2022.3)』

- 新型コロナウイルス感染症により、売上高は大幅な減収、計画比マイナスとなり、営業利益、営業利益率も計画を下回る。
- 3期連続当期損失計上によりROE、ROAはマイナス。
- 新型コロナウイルス感染症の影響を国外でより大きく受けたことから海外売上比率は減少、計画未達。
- 車載売上高2018年度74億円⇒2019年度76億円⇒2020年度67億円(目標110億円)。

売上、営業利益ともに拡大ならずも、時計事業は黒字回復に成功。

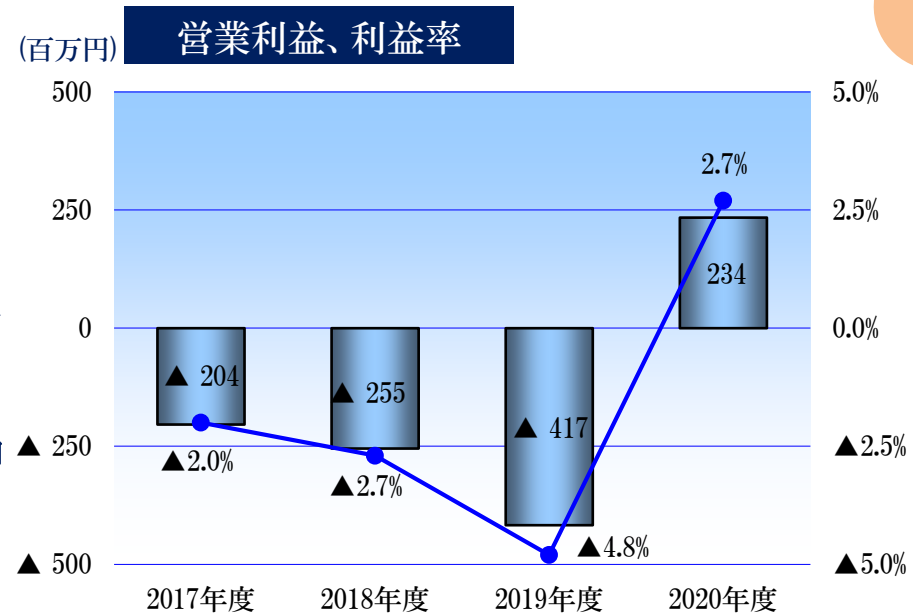
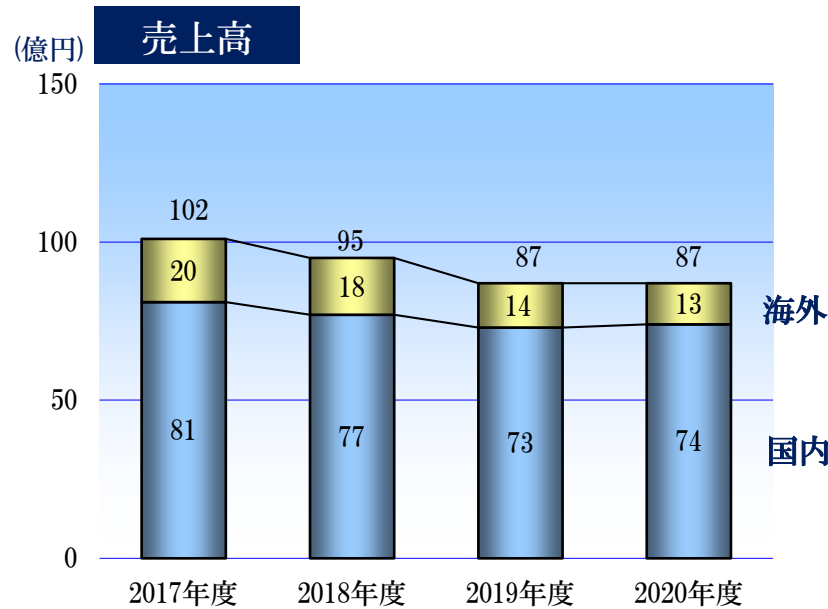
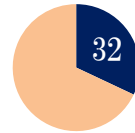
(百万円)	2018年度		2019年度			2020年度			計画比 増減	前期比 増減
	実績	%	計画	実績	%	計画	実績	%		
売上高	31,016	100%	31,500	29,911	100%	32,800	27,304	100%	-5,496	-2,606
時計事業	9,558	31%	9,600	8,764	29%	9,800	8,717	32%	-1,083	-47
接続端子事業	9,421	30%	9,800	9,179	31%	10,500	8,075	30%	-2,425	-1,104
プレジジョン事業 ※3	11,622	37%	11,700	11,608	39%	12,100	9,882	36%	-2,218	-1,725
その他	383	1%	400	358	1%	400	629	2%	229	270
営業利益	761	2.5%	800	-234	-0.8%	1,300	318	1.2%	-982	552
時計事業	-255	-2.7%	0	-417	-4.8%	200	234	2.7%	34	651
接続端子事業	667	7.1%	600	614	6.7%	730	428	5.3%	-302	-186
プレジジョン事業 ※3	728	6.3%	600	45	0.4%	770	60	0.6%	-710	14
その他	59	15.6%	70	55	15.4%	70	98	15.7%	28	43
調整額	-438	-	-470	-532	-	-470	-503	-	-33	28

※ 売上高欄は構成比、営業利益欄は売上高営業利益率を表します。

※ 計画：2019年5月30日発表『中期経営計画(2019.4~2022.3)』

※ 2020年度より電子事業はプレジジョン事業に統合しました。プレジジョン事業の実績はプレジジョン事業と旧電子事業の合算値を表します。

各事業の総括② 生活用品G(時計事業)



総括

時計事業は、売上は前期比横ばいとなったが、2019年度の営業損失から黒字転換。

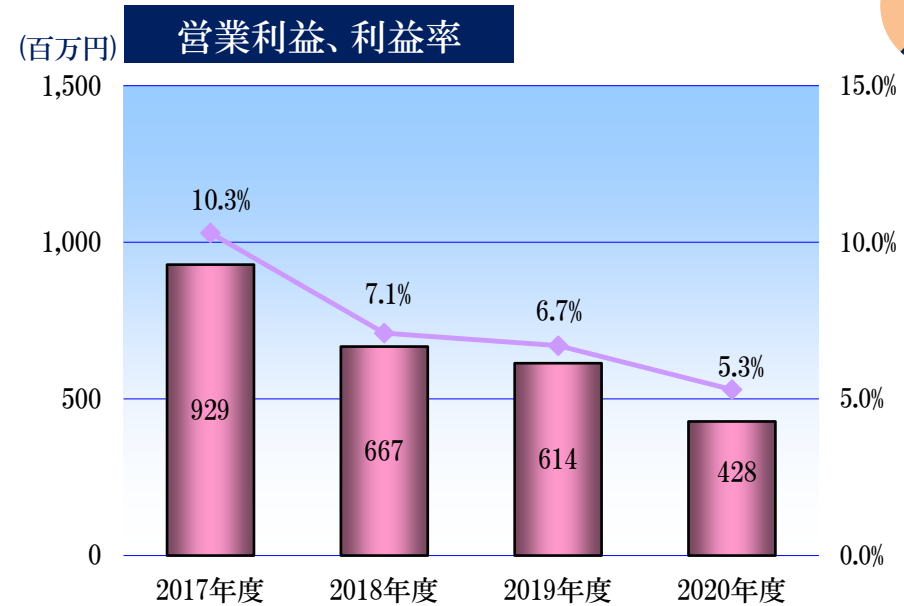
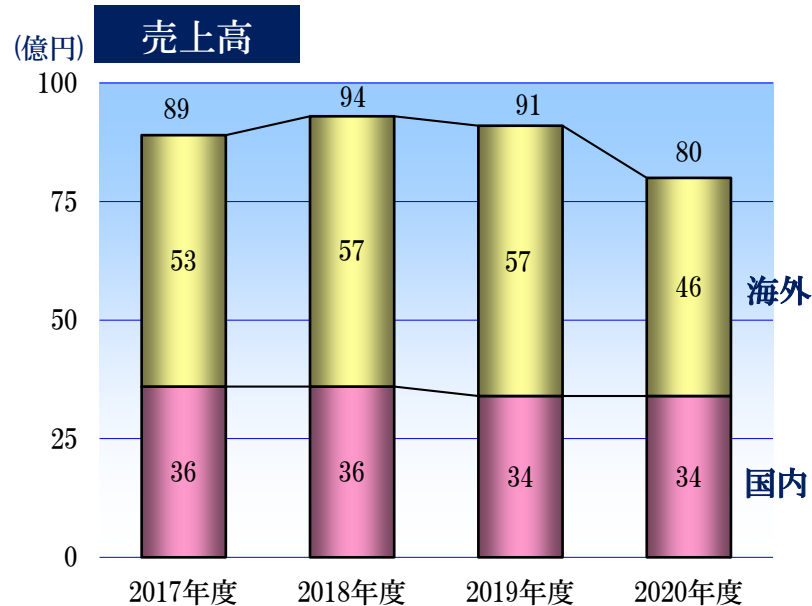
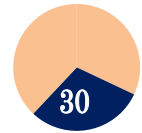
【国内】

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けながらも、インターネット販売や防災行政ラジオの販売は好調に推移。2019年度買収したINGE売上寄与もあり、売上は微増。
- 2020年度早期退職による固定費削減もあり、営業利益は前期の若干の黒字から拡大。

【海外】

- 中国、香港、台湾などのアジア、米国地区においては、売上回復の動きがみられた一方、一部地域においては依然として新型コロナウイルス感染症による低迷が続き減収。
- 2019年度のベトナムから中国への生産集約、費用削減、原価率改善により、営業利益は2019年度赤字から黒字回復。

各事業の総括③ 精密部品G(接続端子事業)



総括

接続端子事業は、特に海外で新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、減収減益。

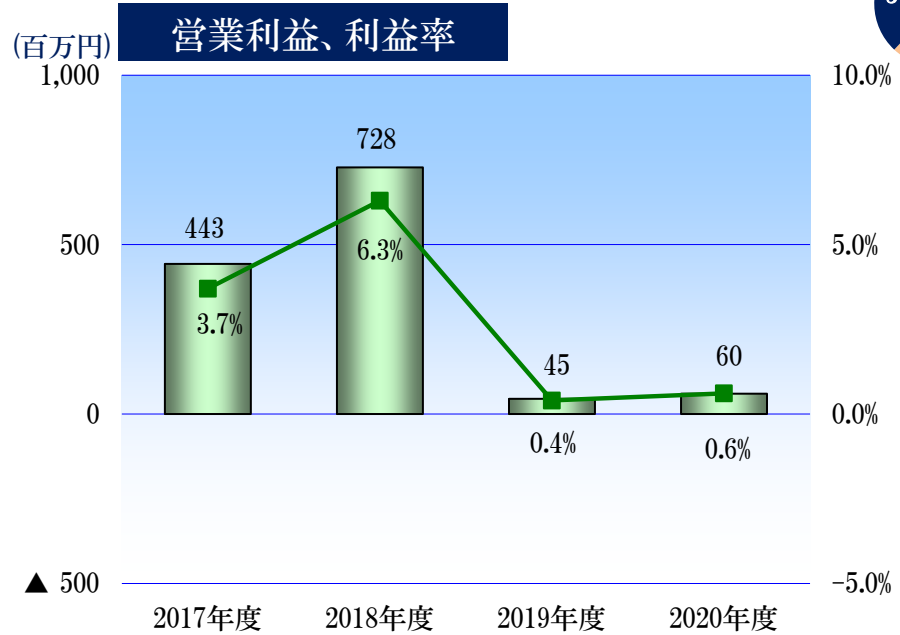
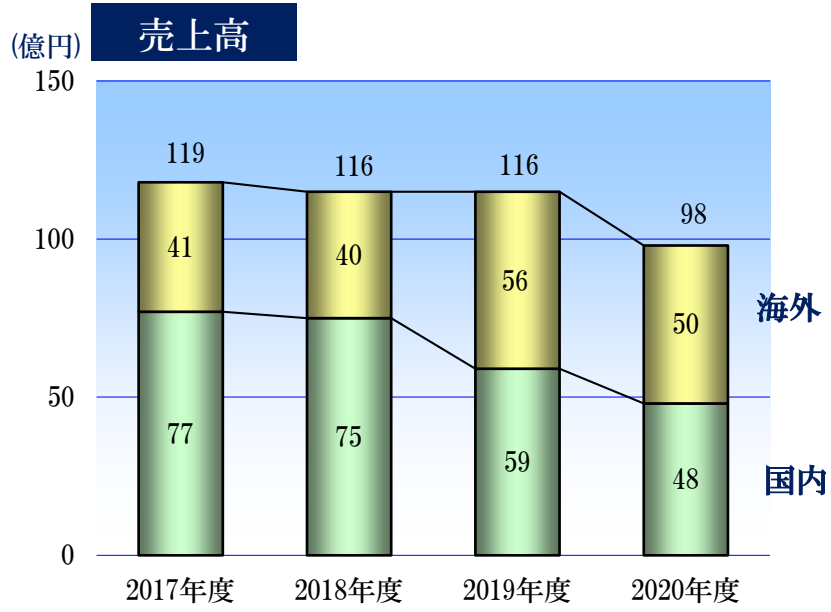
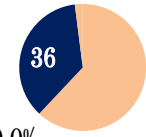
【国内】

- 新型コロナウイルス感染症による顧客生産拠点の稼働停止などから一時受注が低迷したが、2021年3月期第3四半期より車載関連部品を中心に回復し、売上は前期から横ばい。
- 営業利益は製造原価、販管費の改善によって増益。

【海外】

- 中国、シンガポールでは車載関連部品、家電関連部品が好調に推移したものの、新型コロナウイルス感染症によるインドネシア・ベトナムの行動制限に伴う顧客生産拠点の稼働率低下や、二輪・四輪市場の低迷で減収減益。

各事業の総括④ 精密部品G(プレジジョン事業)



総括

プレジジョン事業は、減収となるも下半期に業績回復が進み、前期比わずかに増益。統合した電子事業においては不採算案件から撤退。

【国内】

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、上半期売上は低調も、下半期には新規案件立上げが進み、また、工作機器関連部品の受注が大幅に回復。しかしながら通期では減収となり、営業損失計上。

【海外】

- 新型コロナウイルス感染症による取引先メーカーの操業停止の影響等があり、中国、ベトナム拠点ともに受注低迷し、減収となったが、販管費の抑制を進め増益。

※ 2020年4月1日より、旧電子事業はプレジジョン事業に統合。上記は、プレジジョン事業に旧電子事業の実績を合算した値を示します。

【外的要因】

- ～新型コロナウイルス感染症、米中貿易摩擦による影響～
- ～国内外時計市場の縮小～
- ～IoT、5G、EVなど新テクノロジーの進展～
- ～SDGs、ESG～

【内的要因】

- ～3期連続最終赤字～
- ～国内3社の合併～
- ～組織・セグメントの変更～
- ～社会的信頼回復への取組継続～



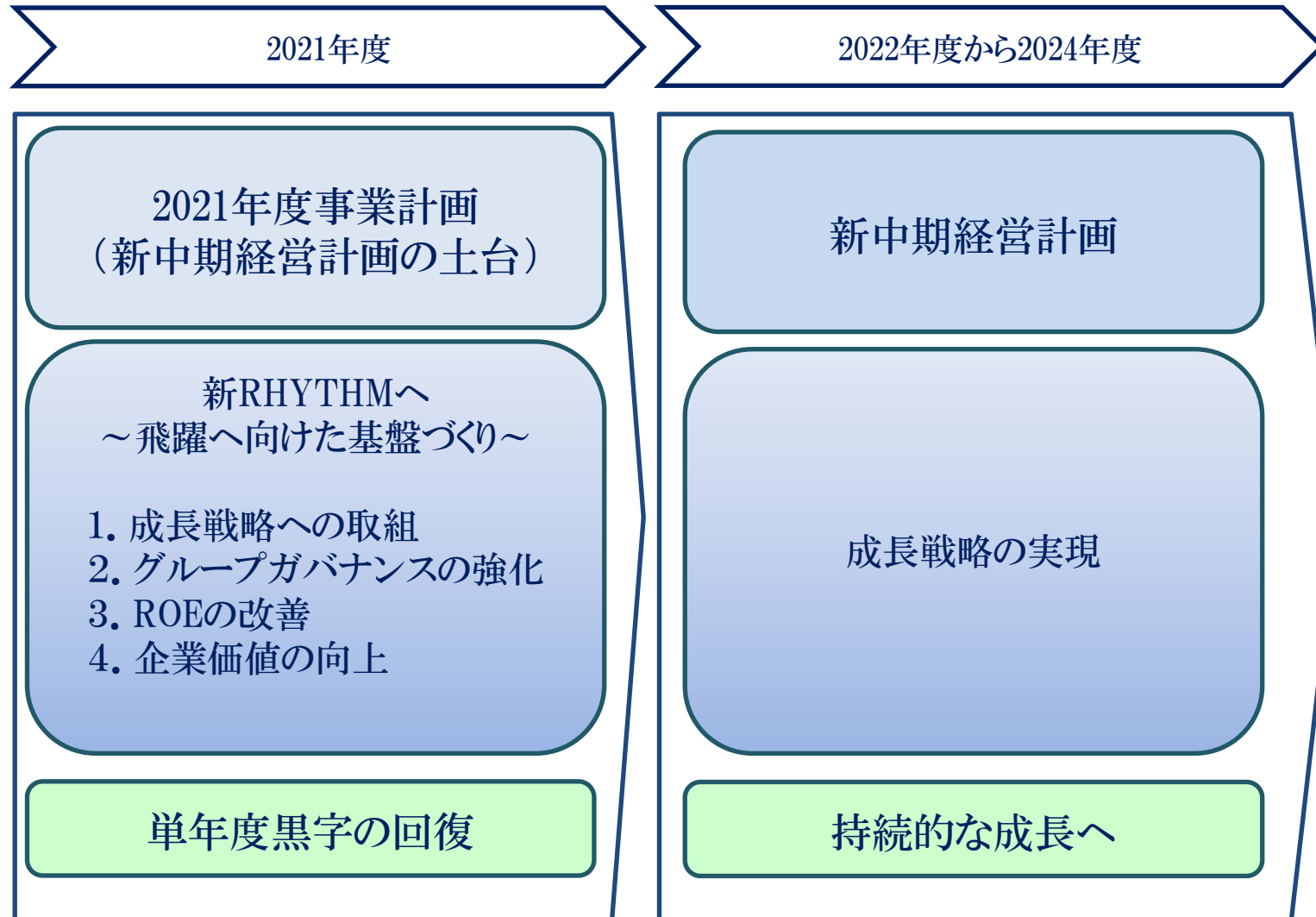
【現中期経営計画最終年度(2021年度)】

2022年度からの新中期経営計画につながる土台づくり。

Ⅱ 修正中期経営計画

(2021年度)

新中期経営計画の土台となる2021年度事業計画



新RHYTHMへ～飛躍へ向けた基盤づくり～

1 成長戦略への取組

新ビジネスの創造、新製品の開発・販売拡大
グローバル戦略の強化
車載関連ビジネスの拡大
生産性の向上

2 グループガバナンスの強化

人材の育成
グループ経営管理の向上

3 ROEの改善

収益力の回復(単年度黒字の回復)
資産の有効活用



4 企業価値の向上

ステークホルダーとのコミュニケーション
SDGs、ESG、CSRの推進

成長戦略への取組

- ① **新ビジネスの創造、新製品の開発・販売拡大**
 - ・精密部品：旧東北リズム、旧リズム協伸の合併シナジー効果による
プレスからインサート成形までの一気通貫型ビジネスの拡大
 - ・生活用品：新製品群の拡大と防災行政ラジオの売上拡大
- ② **グローバル戦略の強化**
 - ・ベトナム3拠点のシナジー、営業共有化強化で新規顧客開拓・売上拡大
 - ・中国市場、EU圏における精密部品事業(車載関連)の拡大
 - ・中国を中心としたアジア圏での生活用品事業の拡大
- ③ **車載関連ビジネスの拡大**
 - ・EV化、自動運転化への対応
 - ・五所川原新工場の稼働
- ④ **生産性の向上**
 - ・品質向上ともの造りの強化(麗声実業もの造り改革プロジェクトの推進等)
 - ・自動化の加速

グループガバナンスの強化

① 人材の育成

- 経営幹部、グローバル人材の育成

② グループ経営管理の向上

- ガバナンス、コンプライアンス、リスク管理の強化と定着
- 新市場区分変更と改訂コーポレートガバナンス・コード(CGC)への対応

ROEの改善

① 収益力の回復(単年度黒字の回復)

② 資産の有効活用

- 資産効率の向上、M&A、新分野への積極投資

企業価値の向上

- ① ステークホルダーとのコミュニケーション
 - ・SR(ステークホルダーリレーション)方針・実施計画の策定、実行
- ② SDGs、ESG、CSRの推進
 - ・CO2削減、リサイクル、廃棄物・製造副産物活用への取組
 - ・ダイバーシティの推進

合併による統合・融合の推進

- ① 機能別組織によるシナジーの発揮
- ② 人員(配置)最適化、共通部門効率化へ向けた早期のシステム統一(人事、会計など)への取組
- ③ 新人事制度導入による組織の融合

単年度黒字の回復

(百万円)	2018年度	2019年度				2020年度				2021年度			
	実績	計画	実績	計画比	前期比	計画	実績	計画比	前期比	計画	修正計画	計画比	前期比
売上高	31,016	31,500	29,911	-1,589	-1,105	32,800	27,304	-5,496	-2,606	34,000	27,600	-6,400	296
精密部品	21,042	21,500	20,787	-713	-255	22,600	17,958	-4,642	-2,829	23,600	18,800	-4,800	842
プレジジョン事業	11,621	11,700	11,608	-92	-13	12,100	9,882	-2,218	-1,725	12,800	10,300	-2,500	418
接続端子事業	9,421	9,800	9,179	-621	-242	10,500	8,075	-2,425	-1,104	10,800	8,500	-2,300	425
時計事業/生活用品	9,588	9,600	8,764	-836	-824	9,800	8,717	-1,083	-47	10,000	8,400	-1,600	-317
その他事業	383	400	358	-42	-25	400	629	229	271	400	400	0	-229
営業利益	761	800	-234	-1,034	-995	1,300	318	-982	552	1,700	330	-1,370	12
精密部品	1,394	1,200	659	-541	-735	1,500	488	-1,012	-171	1,680	830	-850	342
プレジジョン事業	727	600	45	-555	-682	770	60	-710	14	880	380	-500	320
接続端子事業	667	600	614	14	-53	730	428	-302	-186	800	450	-350	22
時計事業/生活用品	-255	0	-417	-417	-162	200	234	34	651	400	0	-400	-234
その他事業	59	70	55	-15	-4	70	98	28	43	80	60	-20	-38
連結修正	-438	-470	-532	-62	-94	-470	-503	-33	29	-460	-560	-100	-57
経常利益	913	900	-22	-922	-935	1,420	588	-832	610	1,800	530	-1,270	-58
当期利益	-264	500	-1,139	-1,639	-875	920	-1,262	-2,182	-122	1,170	330	-840	1,592
為替レート	111.00	120.00	108.83			120.00	110.71			120.00	105.00		

※ 計画：2019年5月30日発表「中期経営計画(2019.4～2022.3)」

※ 修正計画：2021年5月に公表いたしました業績予想に基づくものです。

※ 2022年3月期第1四半期連結会計期間より、セグメント区分及び名称を変更いたします。

(接続端子事業及びプレジジョン事業を統合→「精密部品事業」、時計事業→「生活用品事業」)

リズムグループとしての総合力を結集し、更なる収益力の向上へ

1 グループガバナンスの強化

子会社管理体制の再構築
経営幹部人材の育成

2 収益力の強化

海外売上高の拡大
車載関連売上高の拡大(重点投資による拡大)
時計・電子収益力向上
グループ間事業の連携強化による新ビジネスの創造

3 リズムブランド価値向上

ステークホルダーとの関係強化

4 ROEの改善

「事業利益確保」「資産効率化」を両輪に財務体質強化と
ROAの改善を推進。

リズムグループとしての企業価値を高め続けていく

2021年度数値目標

(計画為替レート@120円)

()内は2018年度実績

売上高営業利益率	5.0% (2.5%)	
営業利益	17億円 (7.6億円)	
ROE	4.3% (▲0.9%)	※ROA 3.0% (▲0.7%)
連結売上高	340億円 (310億円)	
海外売上高比率	50% (38%)	

ステークホルダーとの関係

お客様との関係

人々に喜ばれる製品・サービスの提供

従業員との関係

活力ある企業風土と働きがいのある職場作り

社会・地域との関係

社会の一員としての積極的な活動

株主・投資家との関係

企業価値向上と投資家とのコミュニケーション

重点投資を含めた成長戦略による安定収益の確保へ

グループガバナンスの強化

- 子会社管理体制の再構築
- 経営幹部人材の育成

収益力強化

海外売上高の拡大	38%	海外売上高比率	50%
車載関連売上高の拡大	74億円	売上高	110億円
	2.5%	営業利益率	5.0%

グループ間事業の連携強化による新ビジネスの創造

リズムブランド価値向上

ステークホルダーとの関係強化

ROEの改善(資産の効率化)

▲0.9%	ROE	4.3%
▲0.7%	ROA	3.0%



カテゴリーNo.1の実現

企業価値の向上

本資料は当社をご理解いただくために作成されたものです。
本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

広報IR担当窓口

リズム株式会社

経営企画部 相澤(アイザワ)

作田(サクダ)

電話 048-643-7241(経営企画部直通)